

第24回 12月22日(木) 13:00～14:30

「くくり」を見つめる



山崎ナオコーラ氏

作家

会場:津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

山崎ナオコーラ。性別のない作家。日常の社会派。

目標は、「誰にでもわかる言葉で、誰にも書けない文章を書きたい」。

著書に、恋愛から社会へ行く小説『この世は二人組ではできあがらない』(新潮社)、自分は変わらずに社会の方を変えて容姿差別を無くそうとするエッセイ『ブスの自信の持ち方』(誠文堂新光社)などがある。

<担当スタッフより>

みなさんは当たり前とされているような規範や、「～すべき」といった思い込みに悩んだことはありますか。枠は自分自身を理解する手立てになりますが、必要以上に縛られることでかえって不自由になることもあると思います。

山崎さんはくくりから解放されることが自分らしく生きるために必要だと考えていらっしゃいます。

今回の講演を通して、自分らしく生きるために、どのような枠に所属しているのか、そしてその枠とどのように距離をとって付き合っていくのか考えるきっかけにしてほしいです。